

# 平成 10 年 3 月期 中間決算短信

平成 9 年 1 1 月 1 7 日

上場会社名 信越化学工業株式会社  
 コード番号 4063  
 本社所在地 東京都千代田区大手町二丁目6番1号  
 問合せ先 責任者役職名 常務取締役  
 氏名 金児 昭  
 中間決算取締役会開催日 平成9年11月17日  
 中間配当支払開始日 平成9年12月10日

上場取引所(所属部) 東京 大阪  
 名古屋 新潟  
 T E L (03)3246-5051  
 中間配当制度の有無 有

## 1. 9年9月中間期の業績 (平成9年4月1日~平成9年9月30日)

### (1) 経営成績

(注) 金額の百万円未満は切り捨て

	売上高 (対前年中間期 増減率)		営業利益 (対前年中間期 増減率)		経常利益 (対前年中間期 増減率)	
	百万円	(%)	百万円	(%)	百万円	(%)
9年9月中間期	183,368	(18.4)	14,858	(18.9)	16,220	(43.3)
8年9月中間期	154,823	(1.6)	12,499	(64.4)	11,321	(23.7)
9年3月期	321,202		25,229		25,803	

	中間(当期)利益 (対前年中間期 増減率)		1株当たり 中間(当期)利益	会計処理基準
	百万円	(%)	円 銭	
9年9月中間期	8,130	(41.4)	21.90	中間財務諸表作成基準
8年9月中間期	5,751	(25.0)	16.95	中間財務諸表作成基準
9年3月期	13,323		38.79	-

(注) 1. 期中平均株式数 { 9年9月中間期 371,229千株  
 8年9月中間期 339,381千株  
 9年3月期 343,490千株

2. 会計処理の方法の変更 該当事項はありません。

### (2) 配当状況

	1株当たり中間配当金		1株当たり年間配当金	
	円 銭		円 銭	
9年9月中間期	4.25		-	
8年9月中間期	3.75		-	
9年3月期	-		7.50	

### (3) 財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
9年9月中間期	553,933	273,737	49.4	718.41
8年9月中間期	484,606	187,720	38.7	548.53
9年3月期	508,737	207,491	40.8	593.56

(注) 1. 期末発行済株式数 { 9年9月中間期 381,033千株  
 8年9月中間期 342,223千株 (平成8年5月20日付  
 9年3月期 349,569千株 株式分割1株:1.05株)  
 (額面株式 1単位1,000株)

2. 有価証券の時価と中間貸借対照表計上額との差額 59,759百万円

3. 中間期末現在のデリバティブ取引の時価と契約額等との差額 - 百万円

## 2. 10年3月期の業績予想 (平成9年4月1日~平成10年3月31日)

	売上高	経常利益	当期利益	1株当たり年間配当金	
	百万円	百万円	百万円	期末 円 銭	円 銭
10年3月期	360,000	33,000	16,500	4.25	8.50

(参考) 1株当たり予想当期利益 43円30銭

〔添付資料〕

( 1 ) 当中間期及び通期の業績の概況

当上半期のわが国経済は、景気は緩やかな回復基調をたどりましたものの、個人消費や住宅建設が消費税率引き上げの影響を受けるなど、回復の実感に欠ける展開となりました。

化学工業界におきましては、企業間競争の激化に伴う事業再編の動きが続き、依然として厳しい経営環境となりました。

このような状況のもとで、当社は、国内外における生産・販売体制の強化及び経営の効率化など収益力の向上に積極的に取り組みました。

当上半期の業績といたしましては、売上高は、1,833億6千8百万円で、前年同期に比べ18.4%(285億4千5百万円)増加し、当上半期の利益は、81億3千万円で、前年同期に比べ41.4%(23億7千9百万円)の増加となりました。

以下、部門別に営業の概況をご報告いたします。

なお、当期は、製品の特性及び用途の実態をより明確に反映させるため、従来の部門別区分(合成樹脂部門、有機・無機化学品部門、電子材料部門、化学肥料・アロイ部門、国際事業部門)を変更いたしました。

1) 有機化学品部門

塩化ビニルは、国内外とも順調に推移しましたので、売上げは増加しました。

シリコンは、化粧品・医薬品向けなどを中心に国内需要が堅調だったことに加え、輸出も伸長しましたので、売上げは増加しました。

酢酸ビニルモノマー及びポパールは、ポパールの需要が低迷しましたものの、酢酸ビニルモノマーが堅調に推移しましたので、売上げは前年同期を上回りました。

メタノールは、国際市況が前年同期に比べ高水準で推移し、売上げは大きく増加しました。

クロロメタンは、塩素系溶剤離れの影響を受けましたが、市況が強含みで推移したことから、売上げは前年同期を上回りました。

セルロース誘導体は、期後半から建材向けの市況が軟化しましたが、医薬用コーティング剤の輸出が好調で、売上げは増加しました。

2) 無機化学品部門

か性ソーダは、国内出荷が順調でしたが、市況が低調に推移しましたので、売上げは前年同期を下回りました。

化学肥料は、厳しい農業環境を背景に需要が減退し、売上げは減少しました。

アロイは、自動車業界向けが健闘しましたものの、鉄鋼業界向けなどが振るわず、売上げは前年同期並みとなりました。

### 3) 電子材料部門

半導体シリコンは、半導体市況軟化の影響を受けましたが、先端デバイス向けが好調に推移し、アジア向けの輸出も加わりましたので、売上げは増加しました。

電子産業用有機材料は、エポキシ封止材などの輸出が大幅に伸長し、売上げは大きく増加しました。

電子産業用希土類磁石は、ハードディスク・ドライブ向けの出荷が好調で、売上げは前年同期を大幅に上回りました。

### 4) 機能材料部門

合成石英製品及び酸化物単結晶は、電子・通信業界向けの旺盛な需要を反映して、売上げは大幅に増加しました。

レア・アースは、輸出が減少しましたものの、蛍光体向けの国内出荷が堅調で、売上げは前年同期をわずかに上回りました。

希土類磁石は、家電・自動車向けや産業用機械向けなどが総じて好調に推移し、売上げは大きく増加しました。

### 5) 国際事業部門

一般商品の販売はわずかに減少しましたが、技術料及びプラント輸出の収入が増加しましたので、売上げは前年同期を上回りました。

通期の見通しにつきましては、個人消費や建設・情報関連分野の動向など、景気の先行きが懸念され、当社を取り巻く環境はなお予断を許さない状況にありますが、現時点では、売上高 3,600 億円、経常利益 330 億円を見込んでおり、期末配当金は 1 株につき、4 円 25 銭を予定しております。

## (2) - 1 比較貸借対照表

## (A) 資産の部

科 目	前 期		当中間期末 (9年9月)	前年同期比
	中間期末 (8年9月)	期 末 (9年3月)		
資 産 の 部	百万円 484,606	百万円 508,737	百万円 553,933	百万円 69,327
流 動 資 産	303,812	298,951	291,086	12,726
現金・預金	163,915	111,644	101,395	62,520
受取手形・売掛金	92,078	102,337	111,077	18,999
有 価 証 券	3,097	35,722	28,284	25,187
商品・製品・半製品	17,793	19,431	19,683	1,890
原材料・貯蔵品	7,805	8,152	7,074	731
短期貸付金	13,169	13,124	14,833	1,664
未 収 入 金	3,396	5,199	4,920	1,524
そ の 他	3,326	4,167	4,707	1,381
貸倒引当金	(-) 770	(-) 830	(-) 890	120
固 定 資 産	174,109	203,973	257,905	83,796
有形固定資産	87,641	91,450	98,777	11,136
建 物	27,175	28,762	28,900	1,725
機 械 ・ 装 置	36,087	37,542	46,081	9,994
そ の 他	24,379	25,144	23,795	584
無形固定資産	107	100	149	42
投 資 等	86,360	112,422	158,979	72,619
投資有価証券	41,044	47,415	86,496	45,452
子会社株式	39,065	43,317	44,736	5,671
自己株式	-	-	2,125	2,125
長期貸付金	1,718	17,542	21,710	19,992
そ の 他	4,542	4,265	4,051	491
貸倒引当金	(-) 10	(-) 120	(-) 140	130
繰 延 資 産	6,684	5,812	4,941	1,743
社債発行差金	6,684	5,812	4,941	1,743
計	484,606	508,737	553,933	69,327

## (B) 負債及び資本の部

科 目	前 期		当中間期末 (9年9月)	前年同期比
	中間期末 (8年9月)	期 末 (9年3月)		
負 債 の 部	百万円 296,886	百万円 301,246	百万円 280,195	百万円 16,691
流 動 負 債	127,979	163,171	155,268	27,289
支払手形・買掛金	60,005	67,414	72,407	12,402
短期借入金	13,266	13,266	13,266	-
一年以内償還轉換社債	437	18,323	6,197	5,760
未 払 金	17,871	21,709	26,212	8,341
未払法人税等	6,440	10,083	6,597	157
未 払 費 用	15,931	18,048	18,220	2,289
新株引受権	6,975	6,931	4,136	2,839
そ の 他	7,051	7,394	8,231	1,180
固 定 負 債	168,907	138,075	124,926	43,981
社 債	52,562	52,562	52,562	-
轉換社債	108,645	77,665	54,963	53,682
長期借入金	2,550	2,438	12,306	9,756
退職給与引当金	3,988	4,453	4,343	355
そ の 他	1,160	955	750	410
資 本 の 部	187,720	207,491	273,737	86,017
資 本 金	37,532	44,255	72,651	35,119
資本準備金	32,013	38,772	69,926	37,913
利益準備金	4,838	4,967	5,111	273
任意積立金	103,130	103,130	113,005	9,875
中間(当期)未処分利益	10,204	16,364	13,042	2,838
[中間(当期)利益]	[ 5,751]	[13,323]	[ 8,130]	[ 2,379]
計	484,606	508,737	553,933	69,327

## (2) - 2 比較損益計算書

科 目		前 期		当 中 間 期 (9/4 ~ 9/9)	前年同期比
		中 間 期 (8/4 ~ 8/9)	通 期 (8/4 ~ 9/3)		
営 業 損 益	売 上 高	百万円 154,823	百万円 321,202	百万円 183,368	百万円 28,545
	売 上 原 価	123,631	257,650	149,276	25,645
	売 上 総 利 益	31,192	63,551	34,092	2,900
	販 売 費 ・ 一 般 管 理 費	18,693	38,322	19,234	541
	営 業 利 益	12,499	25,229	14,858	2,359
営 業 外 損 益	受 取 利 息	619	2,264	2,515	1,896
	受 取 配 当 金	1,565	2,125	1,801	236
	そ の 他 収 益	771	3,601	477	294
	営 業 外 収 益 計	2,956	7,991	4,794	1,838
	支 払 利 息 ・ 割 引 料	1,130	3,072	1,636	506
	そ の 他 費 用	3,004	4,344	1,796	1,208
	営 業 外 費 用 計	4,134	7,417	3,432	702
経 常 利 益		11,321	25,803	16,220	4,899
特 別 損 益		-	-	-	-
税引前中間(当期)利益		11,321	25,803	16,220	4,899
法 人 税 ・ 住 民 税		5,570	12,480	8,090	2,520
中 間 ( 当 期 ) 利 益		5,751	13,323	8,130	2,379

(注)	前 中 間 期	前 期	当 中 間 期
1. 有形固定資産の減価償却累計額	176,838 百万円	184,502 百万円	191,945 百万円
2. 保 証 債 務	1,073 百万円	952 百万円	880 百万円
3. 自己株式の数及び貸借対照表価額			
単位未満株式買取りによる株式			
株式数	672 株	1,503 株	2,144 株
貸借対照表価額	1 百万円	3 百万円	6 百万円
取締役又は使用人への譲渡のための取得株式			
株式数	-	-	712,000 株
貸借対照表価額	-	-	2,125 百万円
4. 当中間期の発行済株式数の増加の内訳			
	発 行 株 式 数	資 本 組 入 額	
転換社債の株式転換	20,025 千株	17,426 百万円	
新株引受権付社債の新株引受権の行使	11,439 千株	10,969 百万円	

#### 5. リース取引関係

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引

リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び中間期末残高相当額

	前 中 間 期	前 期	当 中 間 期
取得価額相当額	515 百万円	646 百万円	729 百万円
減価償却累計額相当額	284 百万円	333 百万円	365 百万円
中間期末残高相当額	231 百万円	313 百万円	363 百万円
未経過リース料中間期末残高相当額			
1 年内	96 百万円	114 百万円	137 百万円
1 年超	135 百万円	198 百万円	226 百万円
合 計	231 百万円	313 百万円	363 百万円
支払リース料 (減価償却費相当額)	71 百万円	153 百万円	88 百万円

減価償却費相当額の算定方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

なお、上記注記は支払利子込み法によっております。

(3) 売上高比較

部 門	前 期		当 中 間 期 (9/4～9/9)	前年同期比
	中 間 期 (8/4～8/9)	通 期 (8/4～9/3)		
有 機 化 学 品 部 門	百万円 (46) 72,268	百万円 (46) 151,239	百万円 (45) 82,196	百万円 9,928
無 機 化 学 品 部 門	( 3 ) 4,350	( 3 ) 9,272	( 2 ) 4,162	188
電 子 材 料 部 門	(35) 54,048	(35) 111,096	(36) 66,322	12,274
機 能 材 料 部 門	(10) 15,163	(10) 31,706	(12) 21,046	5,883
国 際 事 業 部 門	( 6 ) 8,992	( 6 ) 17,887	( 5 ) 9,640	648
合 計	(100) 154,823	(100) 321,202	(100) 183,368	28,545
[ 参 考 ] 輸 出 合 計	(24) 37,130	(26) 83,983	(31) 56,400	19,270

(注) 1. ( )内は構成比率を示します。

2. 当中間期より部門別区分を変更いたしました。これに伴い、前期(中間期及び通期)の売上高は変更後の区分により表示しております。

3. 各部門の主要製品は下記の通りです。

有機化学品部門 塩化ビニル、シリコン、酢酸ビニルモノマー、ポパール、メタノール、クロロメタン、セルロース誘導体(メトロース、医薬用コーティング剤)

無機化学品部門 か性ソーダ、化学肥料(石灰窒素、熔成燐肥)、アロイ

電子材料部門 半導体シリコン、電子産業用有機材料、電子産業用希土類磁石

機能材料部門 合成石英製品(フォトマスク用基板等、光ファイバー用プリフォーム)、酸化物単結晶(リチウム・タンタレート等)、レア・アース、希土類磁石

国際事業部門 技術・プラント輸出、商品の輸出入



(4) 有価証券及びデリバティブ取引に関する状況

(A) 有価証券の時価等

(単位：百万円)

種 類	前 期						当中間期末(9年9月)		
	中間期末(8年9月)			期 末(9年3月)			貸借対照表 価 額	時 価	評価損益
	貸借対照表 価 額	時 価	評価損益	貸借対照表 価 額	時 価	評価損益	貸借対照表 価 額	時 価	評価損益
(1) 流動資産 に属する									
株 式	1,233	3,381	2,147	1,241	2,544	1,302	1,200	2,043	842
債 券	754	648	105	390	313	76	390	360	29
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小 計	1,988	4,030	2,041	1,631	2,858	1,226	1,590	2,404	813
(2) 固定資産 に属する									
株 式	43,232 (9,845)	122,785 (27,702)	79,552 (17,856)	44,266 (9,845)	97,607 (21,485)	53,340 (11,639)	46,609 (9,845)	106,503 (20,639)	59,894 (10,793)
債 券	515	531	16	5,605	5,596	8	5,585	5,602	17
その他	2,782	1,938	844	3,181	2,199	982	3,130	2,164	966
小 計	46,530 (9,845)	125,255 (27,702)	78,725 (17,856)	53,053 (9,845)	105,403 (21,485)	52,349 (11,639)	55,325 (9,845)	114,270 (20,639)	58,945 (10,793)
合 計	48,518 (9,845)	129,285 (27,702)	80,767 (17,856)	54,685 (9,845)	108,261 (21,485)	53,576 (11,639)	56,916 (9,845)	116,675 (20,639)	59,759 (10,793)

(注) 1. 時価等の算定方法

上 場 有 価 証 券 主に東京証券取引所の最終価格  
 店 頭 売 買 有 価 証 券 日本証券業協会が公表する最終売買価格等  
 証券投資信託の受益証券 基準価格  
 非上場債券の時価又は時価相当額の算定は、日本証券業協会が公表する公社債店頭基準気配銘柄の利回り、  
 残存償還期間等に基づいて算定した価格によっております。

- 株式には、自己株式を含めて表示しております。
- ( )内は関係会社に係るもので内数で示してあります。
- 開示対象外の有価証券の貸借対照表計上額

		前中間期末	前 期 末	当中間期末
流動資産に	債	1,110百万円	34,094百万円	26,700百万円
属するもの				
固定資産に	非 上 場 株 式	33,088百万円	37,280百万円	38,800百万円
属するもの	(うち関係会社株式)	(31,843百万円)	(36,065百万円)	(37,585百万円)
	債	481百万円	389百万円	39,223百万円
	そ の 他	9百万円	9百万円	9百万円

(B) デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益

通貨関連

(単位：百万円)

区分	種類	前中間期末(8年9月)			前期末(9年3月)			当中間期末(9年9月)					
		契約額	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額	時価	評価損益			
											うち1年超	うち1年超	うち1年超
市場取引以外の取引	為替予約取引												
	売 建												
	フランスフラン	33	-	33	-	4	-	4	-	1	-	1	-
合 計		33	-	33	-	4	-	4	-	1	-	1	-

(注) 1. 期末の為替相場は先物相場を使用しております。

2. 外貨建金銭債権債務等に先物為替予約が付されていることにより、決済時における円貨額が確定している外貨建金銭債権債務等で、貸借対照表において当該円貨額で表示されているものについては、開示の対象から除いております。

3. 前中間期末で開示しておりました「先物為替予約の状況」は、当中間期末において比較の便宜を考慮し、併記しております。

金利関連

(単位：百万円)

区分	種類	前期末(9年3月)			当中間期末(9年9月)				
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益		
								うち1年超	うち1年超
市場取引以外の取引	スワップ取引								
	受取変動・支払固定	500	500	-	-	500	500	-	-
	支払変動・受取固定	-	-	-	-	5,000	5,000	-	-
合 計		500	500	-	-	5,500	5,500	-	-

(注) 前中間期末は開示が求められておりませんので記載しておりません。